

★評価基準（24年度に実施した事業の評価）

評価項目	評価の視点	評価	評価基準
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズ、緊急性、法的根拠など市が主体的に実施する必要性は高いか。 ・事業実施の意義や必要性が変化していないか。 ・惰性的に実施していないか。 	A	高い
		B	どちらかといえば高い
		C	どちらかといえば低い
		D	低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果が上がり、期待したとおりの効果が上がっているか。 ・目標に対しての達成度はどうであったか。（目標設定は妥当であったか） ・成果に向けた行政の活動量は十分であったか。 ・市民ニーズに有効に働いているか。（市民の満足度は高いか。） ・上位施策への貢献度は高いか。 	A	有効
		B	どちらかといえば有効
		C	どちらかといえば有効でない
		D	有効でない
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のOA化や外部委託、その他の方法（臨時・非常勤職員の活用等）により業務の効率化を図ることができないか。（成果を下げずに事業費を削減できないか。） ・実施体制は妥当か。（従事職員数は適正か。） ・市の他事業に類似した事業はないか、また統合できる可能性はないか。 ・適正な受益者負担を求めているか。 	A	効率よく実施している
		B	若干改善の余地があるが、概ね効率よく実施している
		C	改善の余地あり
		D	大きく改善の余地あり
優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の優先度は高いか。 ・事業を廃止した場合、市民生活や市の他施策・事業に影響があるか。 	A	高い
		B	どちらかといえば高い
		C	どちらかといえば低い
		D	低い

総合評価基準

評価	基準の説明
A	「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」
B	「課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業」
C	「課題が多く、事業内容や進め方に見直しが必要な事業」
D	「休止・廃止(統合を含む)を検討する事業」 「課題が多く、抜本的な見直しが必要な事業」

※ 事業が完了した場合「事業完了」